

1 研究主題

学習指導要領の主旨を生かした生活科の授業観の理解を深め、部員の授業力向上を図る。

2 研究の概要

- フィールドワーク
- 授業研修会、情報交換



フィールドワーク

3 研究の実際

(1) 響きの森公園周辺フィールドワーク

- ①日 時：平成27年8月7日（金） 13：30～16：00
- ②場 所：響きの森公園周辺（干溝 林泉庵のブナ林 響きの森公園 泉沢周辺）
- ③講 師：NPO法人魚沼交流ネットワーク

(2) 授業公開

- ①日 時：平成27年9月15日（火） 13：30～16：00
- ②会 場：伊米ヶ崎小学校
- ③授業者：教諭 三膳 真悠
- ④内 容：4学年 総合的な学習の時間
「かけがえのない森」～伝えていこう守っていこう～

⑤協議内容：

- ア 会場校校長あいさつ
- イ 授業者からの補足説明
- ウ 参観者質問
- エ 研究協議会（グループ協議）
授業で気付いたこと付箋紙を一枚ずつ貼っていき、KJ法で整理。
- オ 各グループごとに発表

4 成果と課題

- フィールドワークでは、夏の森林でよく見る木の名前やその由来、この地域独自の木や草、花などを教えていただいた。また、実際に児童を連れて行く場合に配慮することやポイントなどを、現場で直接指導していただくことができた。子どもの立場になり体験することができ、大変分かりやすく、すぐにでも授業に生かしたくなるフィールドワークだった。
また、地域の自然のよさや豊かさを知るとともに、魚沼交流ネットワークの方の活動内容を知るよい機会ともなった。
- 授業公開においては、いくつかの思考ツール（クラゲチャート、ピラミッドシート等）を用い、グループ学習や一斉学習を効果的に組み合わせ、児童の思考を導き出し、みんなで分かりやすくまとめていく様子を見ることができた。また、児童の相互のお互いに信頼し合う温かな関係がそれらの思考過程の基盤として重要であることを参観を通して再認識することができた。

